

# 昭和ケア会議、話合いの記録① 「テーマ：昭和の防災について」

平成 29 年 12 月 25 日 第 6 回昭和ケア会議資料

実施日 「第 4 回 昭和ケア会議」日時：平成 29 年 10 月 30 日 13 時 30 分～15 時 30 分 場所：在宅介護支援センターほほえみの里「プラザ昭和」  
 「第 5 回 昭和ケア会議」日時：平成 29 年 11 月 27 日 13 時 30 分～15 時 30 分 場所：在宅介護支援センターほほえみの里「プラザ昭和」

項目別の主な意見	ポイント
<p>●要支援者名簿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名簿作成等よりも、災害時の要支援者を地域ごとに把握している地域が先進的</li> <li>・優先すべき人がわからない。色んな人がいる。年齢以外の情報が細かく区分されていればよい</li> <li>・「要支援者名簿」と「ひとり暮らし名簿」名簿の活用の仕方がわからない</li> <li>・市に名簿を提出すると帰ってこない？（そういうことはなく、地域が保管している）</li> <li>・消防には共有されているのか？（消防には共有されない、地域が活用する為の物）</li> <li>・民生委員や区長さんだけでなく、若い人や外国人も頼る</li> <li>・要支援者がいる人のところから始めるべき←民生委員の守秘義務との関係</li> </ul>	<p>→昭和でも、それぞれの地域にあった方法で行うことが必要。組長単位で気になる人の把握からしては                  →同意してくれる人から地域で話し合えないか →可能なエリア（団地の階段ごと等）から実践し、たたき台にしていく                  →名簿の管理をしっかりと。災害時に共有できるよう                  →やれるところからやる！情報をオープンにしてもいい人から情報交換を始めるなど                  →日頃のつきあいを防災へとつなげる                  →要支援者は民生委員だけでなく、地域みんなで把握すべき</p>
<p>●消防</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足？消防団には団地の人も参加しているが知られていない。</li> <li>・昭和は消防の分団がない？自主防災会は形だけになっていないか？</li> <li>・牛田が活発。独自に「防災隊」を立ち上げている。昔から老若男女のつながりが強い</li> </ul>	<p>→消防団の人に地域の訓練に参加してもらう                  →ハツ田は防災士の資格取得を推奨している。市からも助成が出る                  →昭和まもりんピック関係者にもハツ田の防災士の有資格者が。昭和ケア会議にお招きすることも可能</p>
<p>●個人情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家の中まで入れない。隣の家のことは言いにくい。内緒で入院していることも</li> <li>・ひきこもっている人、訓練にどう参加してもらうか。きっかけづくり</li> </ul>	<p>→行政は有事の際には対応がたくさん。有事の最初は地域が大事。3日～1週間は地域で何とかする必要がある                  →名簿登録をすれば、有事には役所の人があると思っている人もいるので啓発していく</p>
<p>●団地の階段ごとに検討できないか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に助け合うためには普段のコミュニケーションが必要→外国人に助けってもらうこともある</li> </ul>	<p>→まずは「あいさつ」から。何かあったら助けてもらえるか聞いてみよう？                  →まず、石川さんが一つの階段の括りで声掛けを行ってくださることに、結果は次回共有                  →外国人もあいさつはできる。スクールガードの格好をしていると声かけやすい</p>
<p>●昭和の「組」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能している？自治会も子ども会が無くなり、入らなくなった人も多いのでは</li> <li>・昔は団地の棟ごとにあったが。組長は掲示物の管理と全戸配布物の対応</li> <li>・外国人が「自治会費」がわからない。回覧版もわからない。説明も大変</li> </ul>	<p>→防災パトロールに協力してもらえないか？→まもりんピック等のつながりから当たってみる                  →次回の防災訓練には外国人にも参加の呼びかけをしてみよう                  →外国人の方がまじめなこともある、会費は直接持ってくる人もいる</p>
<p>●人材を発掘したい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組長は変わってしまう。リーダーシップを取れる人が必要。組長とその人が名簿を共有できれば</li> <li>・若い人の状況も把握したい</li> </ul>	<p>→昭和☆まもりんピックを実施した「昭和つながりんぐプロジェクト」は、若手が多い。意見交換する機会を設けて、相談にのってもらう</p>
<p>●防災訓練の反省</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと外国人の参加を！！</li> <li>・防災訓練、みんなで準備できるように</li> </ul>	<p>→来年は外国人も！宗教の関係で食べられないものがあることにも注意                  →キャリダンの使い方、お米の炊き方を学ぶ←佐藤さんの声かけで外国人参加、保育園の友人、畑の人</p>
<p>●3丁目芋煮会の情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の地区でもやれば！ひっぱる人がいないと…これをやる！と率先してやる人が必要</li> <li>・今年はミャンマー鶏のくんせいを提供してもらった。畑での収穫も行った</li> </ul>	<p>→訪問しても連絡がとれない人の情報が入手できた                  →同窓会のようなもの、交流のきっかけとなった                  →人を集める→たべる！！</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震の際に団地がどうなるのかを知りたい、ライフラインは？</li> <li>・情報を集めてからどうすればいい？→それによって日頃の意識を高める</li> <li>・江南団地、毎月防災訓練、たきだし</li> <li>・三丁目：防災の役割分担が決まっている→活用はしたことがないが</li> <li>・四丁目：組長に係が割振られている（東小の防災訓練）→実際の災害時に動けるか？</li> <li>・防災よりも日々の生活の困りごとが深刻←外国人の方が手伝ってくれる？→日頃のつながり→訓練にも参加</li> <li>・外国人の顔と名前がなかなか覚えれない、引っ越しが頻繁</li> <li>・小さな災害や困りごと ・人ごとと思わず声かけ</li> <li>・5階で火事でも2階の人が気づかなかった、火事などをきっかけに自分ゴトになることも</li> </ul>	<p>→牛田では「お助けマン」がある（中島さん）、柿を取れない家の手伝いも→昭和でもどうか。                  ※次回情報提供</p> <p>→防災の勉強会（実践的なもの）あればよい                  ※学ぶ場を紹介していく</p> <p>→階段ごとに声かけ</p> <p>→団地の外国人に助けてもらえるか聞いてみる                  ※西尾市の事例（外国人の防災）</p> <div style="text-align: right;"> <p>【三丁目自主防災会】</p> </div>
<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災はつながりづくりが重要。今後、様々なテーマで話し合いを行っていく中で、殆ど全ての内容が、昭和の防災の力の向上にも関係してくる。そういう認識で他の話し合いも進められればよい。</li> <li>・支援について意識の高い人々が、情報交換し、意識を共有することに価値がある。昭和ケア会議メンバーですべてを解決する必要はない。それでは負担が多く会が続かない。</li> <li>・昭和ケア会議の意見は、昭和未来会議でも情報を共有し、意識啓発や具体的な活動へと繋がっていければ良い。</li> </ul>	